



学校だより



NO.11
東京女学館小学校
令和3年3月12日

ミモザの日

小学校長 田中均

どうしても単調になりがちなのはサラダです。なぜかと言うと、きっとまずは主食、次に主菜、さらに副菜と考えてきて、最後に「ではサラダでも付けようか」と考えてしまいうからで、気が付くと毎日レタス、せいぜいそれにサニーレタスとかトマトとか、トッピングするにしても生ハムを載せたりシーチキンを加えたりする程度ですませてしまっています。

ミモザサラダ、などという発想はなかなか出てきません。それは冷蔵庫にレタスは常駐していてもミモザが常駐することがないからでしょう。あまり知られてはいませんが3月8日は「ミモザの日」です。この時期はイタリアでミモザの花が咲き始める時期なのでそう呼ばれるようになったとか。黄色は西洋では春を象徴する色とされていて、黄色い花は寒く厳しい冬が終わり、暖かな春が来たことを告げる「幸せの花」と言われています。そしてこの日は自分の身近な女性にミモザの花を送る日とされています。

この日は女性の日です。一九一〇年に国際女性デーとなりました。一九〇四年3月8日にアメリカで女性労働者が婦人参政権を求めてデモを起こしたことがきっかけで女性の平等な社会参加の機会を整備するように国連が呼びかけを行っています。そう考えてくると東京女学館とは縁のある日と言ってもよいと思います。



ちょうどこの日、ドッジボール大会でした。コロナウィルスの感染拡大防止のため5、6年生だけの参加でしたが体育館で熱戦が繰り広げられました。応援は拍手だけです。人目をはばかることなくまなじりを決してボールを投げ込む姿は全力投球そのもの。全力で取り組むことができる、それが女性の可能性を押し広げていく力になることは、間違いないことでしょう。

3月11日は東日本大震災から10年を迎える日です。「復興」のその先をめざして、本校のこどもたちがたくましく社会を築いていくことを祈ってやみません。



展覧会 (2月20日・21日) 運営委員 教諭
今年度の始めから展覧会委員会では、どのような形で鑑賞できるか検討を重ねました。

展覧会を中止にする案や、保護者の皆様の鑑賞をなくす案もありましたが、出来る限り保護者の皆様に児童の日ごろの成果を見ていただきたいと考え、今回のような形で開催しました。

保護者の皆様には、日程のご調整や検温・消毒など様々な面でご協力いただきました。感謝いたします。

今後も児童の日ごろの様子などを、感染予防を心がけながら保護者の皆様に見て頂く機会を設けたいと思います。



図工担当 教諭

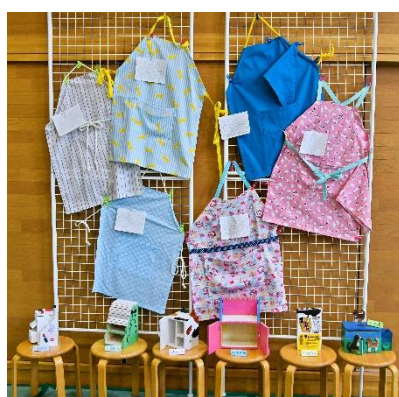
今年度はコロナ禍での開催だったため、例年より規模を縮小して行う予定でした。共同制作はできません。クラブの舞台発表はできません。いろいろなことが制限され、さらに短縮時間割り中での準備でした。しかし子どもたちは、展覧会が開催できることを喜び、精一杯作品に取り組み、展示にも力を注ぎました。展覧会当日の体育館には、子どもたちのパワーがあふれていました。縮小版とは全く感じさせず、468名がそれぞれのアイディアをもって、今できる最高に素晴らしい作品が並べられました。私は、エネルギー溢れる作品をみていると、コロナ禍の暗く長い道のりに、希望の光を感じることができました。このような素晴らしい展覧会が行えたことに心から感謝いたします。



家庭科担当 教諭

5年生は、2学期に初めてミシンに触れ、糸掛け、直線縫いを学習し、1本の手ぬぐいから、世界で一つしかないエコバッグを作りました。自分の好きな物をモチーフに、楽しくて、環境の事も考えた作品です。

6年生は、自分の身体のサイズを考えて、大きくなって着られるようなエプロンを作製しました。配色、ポケットの形や装飾など、手作りならではのアイディアを盛り込みました。





展覧会 クラブ発表担当教諭

本年度は、コロナウイルス感染拡大予防のためクラブ活動ができない日が多くありました。そのような状況でも、皆で力を合わせ発表することができました。

お箏クラブは「さくら」の演奏。レクリエーションクラブは「外郎売」という歌舞伎の口上に挑戦。音楽クラブは器楽アンサンブルで「牧人羊」・「くまさん踊れ」・「ひまわりの約束」を演奏。バトンクラブは「Dynamite」・「Rain On Me」を披露。絵画クラブは木の板を使った作品・扉を開けると飛び出てくる作品等、それぞれのオリジナルの世界が広がる作品。手芸料理クラブは自分の作りたい物を選んで、飾って楽しむものから実用的なものまで心をこめて作ったものが展示されました。科学クラブは2月半ばの星空を表すステンドグラスを作りました。クラブ発表にあたり、支えてくださった方々に心から感謝申し上げます。



ひな祭り

1年生担任

ドン・パシパン・・・体育館いっばいに響きわたるクラッピングファンタジー。今年は合唱ができませんでしたが、それでも心は1つになれると、子どもたちが伝えてくれました。元気いっばいのクラブを披露した一年生と、息ピッタリの素晴らしいクラブでお返しをしてくれた二年生。一年生が目輝かせて二年生のクラブに聴き入る姿は、「私たちもこんなに素敵なお姉さんになりたい」という気持ちが表れているように見えました。最後に、一年間ありがとうの気持ちをこめて図工の授業で作ったキャンディーマグネットと、つばさの授業で作ったお手紙をお渡ししました。

お姉さまも大喜び。心温まるひなまつり会になりました。



防犯対策訓練

担当教諭

3月2日、2時間目の授業中に南門から不審者が侵入したという想定で、防犯対策訓練を実施しました。児童は各教室で、電気を消しカーテンを閉め、ドアに鍵をかけ、静かに立てこもりました。担当の先生による児童の立てこもり状況の確認後、教頭から放送による防犯の心得や本日の立てこもりの様子等のお話があり、防犯の意識を高めました。

すずかけ 茶道〈2月12日・17日・20日 於：作法室〉

すずかけ担当 教諭

例年は5月下旬から6月中旬にかけて行われる「すずかけ茶道」の授業ですが、今年度はコロナ禍の為、6年生のみの実施となりました。コロナ感染防止策をとりながら、対面授業を2時間、展覧会鑑賞日には6年間「茶道」を学んだ集大成として、保護者の方にお点前を披露しました。その時に使用する抹茶茶碗は図工の時間に制作した自作のお茶碗です。当日に限っては児童が「亭主」、保護者の方は「お客様」・・・「お客様」のお作法を心配した「亭主」の皆さんのマスク越しの声無き声はしっかりと「お客様」の心に届いていました。日頃の感謝を込めた一服を堪能された保護者の皆様、お点前はいかがでしたでしょうか。3密を避ける為の方策を工夫しながら、何とか6年生の小学校生活の思い出の一つになってくれたら、という思いからのひと時でした。保護者の皆様には、ご不自由、ご不便をおかけしたにも関わらず、ご理解・ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

すずかけの授業を通して、この6年間に培ったものが、6年生の皆さんの未来を豊かにしてくれることを願っています。

保護者の皆様、今年度の「すずかけボランティア」へのご協力ありがとうございました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

来年度もどうぞよろしく
お願いいたします。



令和2年度リボンの会 ご挨拶

リボンの会会長

新型コロナウイルスの影響で、8月によりやく24名のクラス代表が揃いました今年度のリボンの会は、まもなく活動を終了いたします。始めに、快くお引き受けいただき一緒に活動して参りましたクラス代表の皆様、また、感染状況を見極めながら温かく私達をお導きくださいました先生方に、心より御礼申し上げます。そして、リボンの会オリジナルグッズ購入や窓愛園への鉛筆ご寄付をはじめとする私達からの依頼や呼びかけに、ご理解・ご協力いただきました保護者の皆様に代表一同深く感謝申し上げます。今年度のリボンの会は、学校行事の中止や実施方法の変更に伴い、例年と異なる方法で活動して参りました。また、感染防止の観点から、オリジナルグッズを初めて注文販売にて実施いたしました。制限のある中ではございましたが、東京女学館小学校と社会の為に少しでも意義のある活動となりましたら大変嬉しく思います。リボンの会からの寄贈は、学校のご意向に沿い今年度は繰り越いたします。在校生児童の皆様、並びに先生方へはささやかなお祝いのお品として「タッチペン」をお届けさせていただきます。iPadが導入された年度を記念したもので、水泳帽の学年色に合わせて学年ごとの色を選びました。実施されなかった水泳の授業のことも思い描きながら使っていただきたいと思います。

大変な時期が今しばらく続くと思われませんが、リボンの会は来年度に向けて、すでに頼もしい四役が始動の時を待っております。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。最後に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。一年間、ありがとうございました。

3月の生活目標 「一年間の反省をする」

一年間のまとめの時期です。学校や学級の目標・一人ひとりの目標に対して、どのように自分が取り組んできてどこまで達成することが出来たか、自身をふりかえる大切な時期です。子どもたち自身が成長を感じ、次の目標を設定することができるよう励ましていきます。友だちと協力してたくさんの行事を経験し、多くを学び大きく成長したこの一年でした。ご家庭でもこの一年間の成長を話題にして認め褒めていただけると、次年度への励みになりますのでよろしくお願いいたします。

☆定期券の期限切れにお気を付けください。また新年度まで定期券を購入されない場合、学バスのスムーズな乗車のために、できるだけ回数券・ICカードなどをご利用ください。

